

授業科目(ナンバリング)	ダンス (CC209)			担当教員	※野田 章子		
展開方法	実技	単位数	1 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ ラーニング の 類 型
中学校、高等学校の学習指導要領で取りあげられているダンス（仲間とともに感じを込めて踊ったり、自由に踊ったりすることを楽しさや喜びを味わうことのできる運動）について、特性、ねらい、学習内容、指導方法、評価方法を学び、理解することを目的としている。							④⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
専門力	学習指導要領にあるダンスの学習に興味をもち、自ら積極的に取り組むことができる。 学校教育課程でダンスを学ばせる意義を理解して、その内容を説明できる。			授業態度 授業への参加度 授業内容確認テスト 課題レポート		30% 30% 20%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	学習指導要領の技能や内容を理解してダンスが指導できる。			作品発表		20%	
多様性理解力							
出 席				受験要件			
合 計				100%			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
自分の考えや意見を持ちながら積極的に身体表現活動を行うこと。 授業の取り組み、確認テスト、作品発表、レポートを評価する。 それらについては、都度指導及び評価についてフィードバックを行う							
授 業 の 概 要							
学習指導要領にある「創作ダンス」、「フォークダンス」、「現代的なリズムのダンス」の実技を習得し、その学習内容と学習理論および評価の仕方を学ぶ。グループワークでのダンス創作を中心に実践的に活動を行う。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：使用しない 参考書：「ダンス指導ハンドブックⅠ～Ⅹ」『女子体育』（公益社団法人 日本女子体育連盟編集） 指定図書：「表現運動系およびダンス指導の手引」『学校体育実技指導資料 第9集』（文部科学省）平成25年3月							
授業外における学修及び学生に期待すること							
運動のできる服装、室内シューズ、筆記用具等を準備し、欠席や遅刻をしないよう努めること。スカートやGパンなど運動に適さない服装での参加は認めない。また、体調管理や熱中症の予防を各自で行い、けがや体調不良の場合は事前に連絡をすること。教職を目指すものとしてふさわしい態度で取り組むことを期待する。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	フォークダンス①	特性とねらい、内容の考え方、学習内容とその指導の要点、留意点、工夫例	復習：学習指導要領を読みその内容をまとめる
2	現代的なリズムのダンス①	特性とねらい、内容の考え方、学習内容とその指導の要点、留意点、工夫例	復習：学習指導要領を読みその内容をまとめる
3	創作ダンス①	特性とねらい、内容の考え方、学習内容とその指導の要点、留意点、工夫例	復習：学習指導要領を読みその内容をまとめる
4	フォークダンス②	外国および日本のフォークダンス	復習：外国と日本のフォークダンスについて調べる
5	現代的なリズムのダンス②	創作活動「課題の動き」	復習：既定の動きを練習する
6	現代的なリズムのダンス③	創作活動「自由な動き」	復習：創作した動きを練習する
7	現代的なリズムのダンス④	作品の発表と交流会	復習：交流した作品を評価する
8	まとめ①	学修のまとめ（前半授業内容確認テスト）	復習：ダンス学習の意義について覚える
9	創作ダンス①	創作活動「イメージ」「タイトル」「デッサン」	復習：「ひとながれの動き」を練習する
10	創作ダンス②	創作活動「ひとながれの動き」「ひとまとまりの動き」、	復習：「ひとまとまりの動き」を練習する
11	創作ダンス③	創作活動「はじめーなかーおわりの工夫」	復習：工夫した動きを練習する
12	創作ダンス④	創作活動「デフォルメ（強調、誇張、変形）」	復習：「強調、誇張、変形」した動きを練習する
13	創作ダンス⑤	創作活動「めりはりとダイナミック」	復習：優れた動きについて理解し練習する。
14	創作ダンス⑥	作品発表と交流会	復習：発表された作品の評価をする
15	まとめ②	学修のまとめ（後半授業内容に関する課題レポート）	復習：ダンス学習の意義について覚える